

宮川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、宮川流域においても、事前防災対策を進めることが必要である。
- 宮川水系においては、伊勢神宮につながる街道や渡し跡が残り、歴史的構造物を保全したまちづくりが進められるなど、観光産業を中心とした流域であり、平成29年10月洪水の再度災害防止対策を連携して進めつつ、河川整備や避難に関する早期情報把握、体制強化などの事前防災対策を進める必要がある。
- これらの取り組みを実施していくことで、宮川の国管理区間においては、戦後2位の平成16年9月洪水と同等の洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成23年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。また、勢田川の国管理区間においては、戦後3位の昭和57年8月洪水と同規模の洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の昭和49年7月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、河道拡幅、堤防整備、堤防耐震、護岸整備、排水ポンプ増強、橋梁改築、堰改築 等
- ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:三重県、中部電力(株)など)
- ・雨水貯留施設、下水道(雨水排水)施設・排水機場の整備、施設の耐水化等の促進
- ・ため池、農地等を活用した流出抑制・貯留機能の保全
- ・土砂災害対策施設の整備
- ・流域伐採木のバイオマス発電への利活用
- ・森林整備・保全 等

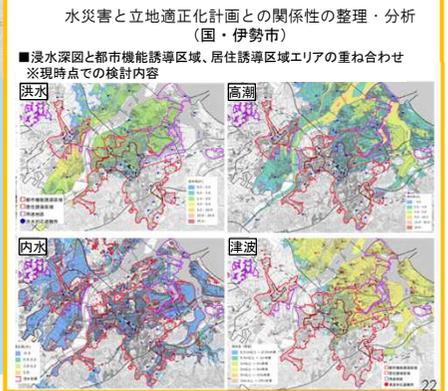
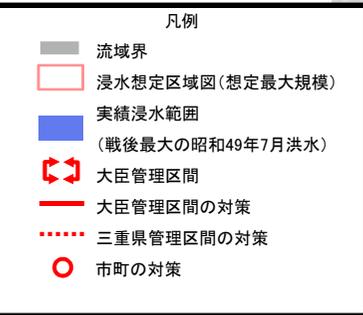
■ 被害対象を減少させるための対策

- ・関係者と連携し、安全なまちづくりに向けた取組を検討(立地適正化計画における防災指針の検討) 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消(洪水・内水・高潮・ため池ハザードマップなどの策定・周知)
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承(水災害を想定した防災訓練の実施)
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・高齢者の避難行動への理解促進(マイタイムラインなどの個人防災計画の作成)
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供(水位計・監視カメラ等の設置、防災気象情報の改善 等)
- ・企業等と連携した避難体制等の確保
- ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信
- ・ライフラインを守る事前伐採 等

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

宮川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

●グリーンインフラの取り組み 『我が国屈指の清流と伊勢の歴史・文化を活かした水辺空間の保全・創出』

- 干潟や塩性湿地を有する河口部、砂礫河原、ワンド・たまり等の環境、連続する瀬淵、河畔林といった水辺環境は変化に富み、高水敷には公園等が整備され河川利用が盛んとなっている。また、我が国屈指の清流として良好な河川水質を維持しているほか、伊勢神宮にまつわる祭事が行われてきた歴史や名勝「宮川堤」を有する等、宮川水系は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境や歴史文化が多く存在しています。
- 伊勢神宮等の歴史や文化にまつわる水辺を活かした地域・観光振興に寄与することを目指し、今後概ね3年間（令和5年度）で水辺空間の創出や拠点化の取り組みを進めるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●健全なる水循環系の確保

森林整備による水源涵養機能の向上
農業用ため池の適正な管理と整備

●治水対策における多自然川づくり

整備における生物の多様な生育環境の保全
桜並木の保全
伊勢神宮等の歴史や文化にまつわる空間の保全
グリーンポンドを活用した水際植生・河川生物の保全

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

水辺の楽校（整備・維持）
人と川とのふれあいの場の確保（宮リバー度会パーク）

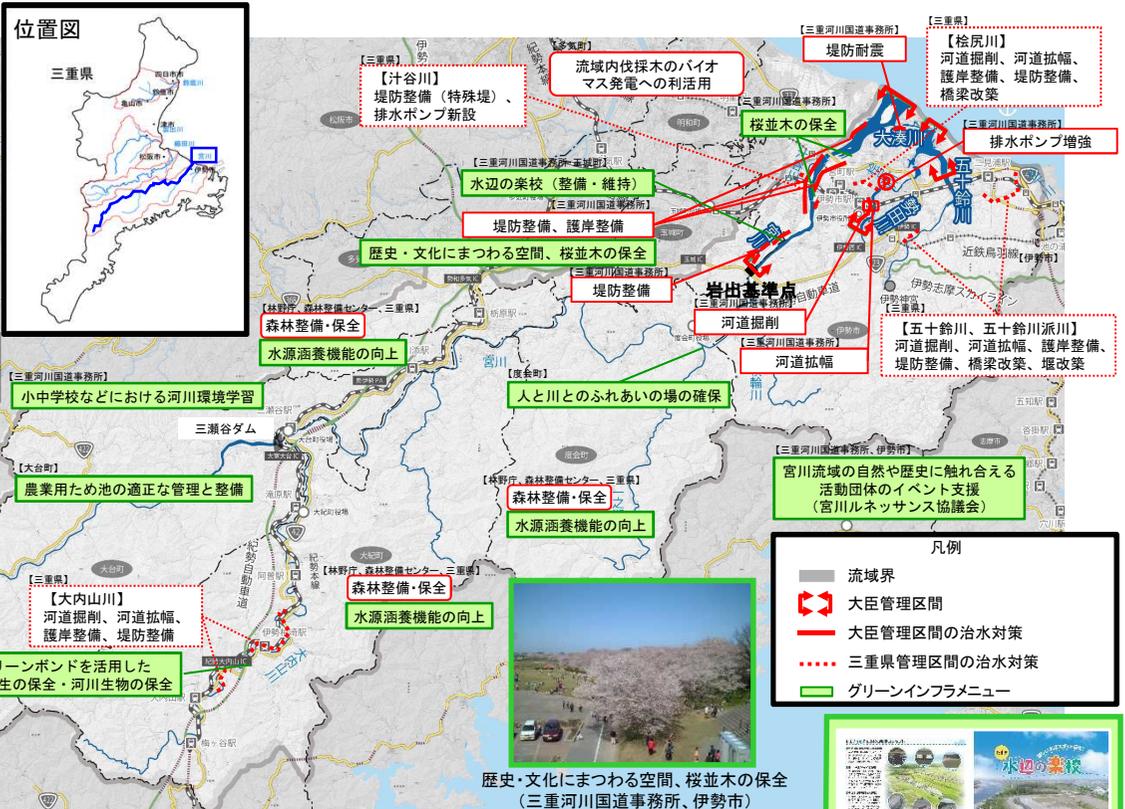
●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

自然環境保全に関する協議会等の活動（宮川流域ルネッサンス協議会）
小中学校などにおける河川環境学習
民間協働による水質調査
流域内伐採木のバイオマス発電への利活用

【全域に係る取組】

地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

- ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
- ※位置図に掲載している「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（赤枠）」は、グリーンインフラを兼ねた取組である。



河川空間利用促進(宮リバー度会パーク)(度会町)



(覆土ブロック整備中)



(護岸整備後の植生状況イメージ)



たまき水辺の楽校(三重河川国道事務所、玉城町)



宮川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

■ 宮川の上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】伊勢中心市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、勢田川で河道掘削、内水対策等を主に実施。
被害軽減のため、立地適正化計画（見直し）に基づく防災指針の検討や水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】伊勢市街地等で重大災害の発生を未然に防ぐため、左右岸堤防整備、大湊川耐震対策を主に実施。
被害軽減のため、企業と連携した避難体制強化や災害情報等の早期把握・提供等を実施。

【中長期】伊勢市、玉城町の浸水被害を防ぐため、左岸堤防整備、勢田川狭窄部対策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

【ロードマップ】

【事業費】

■ **河川対策** ※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載
全体事業費 約258億円
対策内容 河道掘削、堤防整備等

■ **下水対策** ※各市町の下水道事業計画の残事業を記載
全体事業費 約20億円
対策内容 下水道施設の整備

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、橋梁改築等 【勢田川流域等洪水対策実行計画】 ・河道掘削、排水機場ポンプ増強 ・河道掘削、河川整備 ・河川整備、下水道整備	三重河川国道事務所、三重県、伊勢市、玉城町、度会町 三重河川国道事務所 三重県 伊勢市	短期	中期	中長期
	○治水対策 ・樹木伐採のコスト削減に向けた取組 ・流域内伐採木のバイオマス発電への利活用	多気町	短期	中期	中長期
	○土砂災害対策 ・砂防関係施設の整備	三重県	短期	中期	中長期
	○治水の貯留機能の拡大 ・利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	三重県、中部電力(株)	短期	中期	中長期
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・森林整備・保全 ・ため池等を活用した流出抑制・貯留機能の保全	林野庁、森林整備センター、三重県、伊勢市、多気町、玉城町、大台町、度会町、大紀町 三重県	短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・安全なまちづくりに向けた取組を検討	三重県、伊勢市	短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○土地の水災害リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池HM策定・周知)	三重河川国道事務所、気象庁、三重県、伊勢市、多気町、玉城町、大台町、度会町、大紀町、あらゆる関係者	短期	中期	中長期
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災害教育の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の効率的確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信	三重河川国道事務所、気象庁、三重県、伊勢市、多気町、玉城町、大台町、度会町、大紀町、あらゆる関係者	短期	中期	中長期
	○経済被害の軽減 ・災害からライフラインを守る事前伐採	大台町	短期	中期	中長期
グリーンインフラ	○健全なる水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・農業用ため池の適正な管理と整備	林野庁、森林整備センター、三重県、伊勢市、玉城町、大台町	短期	中期	中長期
	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全 ・桜並木の保全 ・伊勢神宮等の歴史や文化にまつわる空間の保全 ・グリーンボンドを活用した水際植生・河川生物の保全	三重河川国道事務所、三重県	短期	中期	中長期
	○魅力ある水辺空間・賑わい創出 ・水辺の学校(整備・維持) ・人と川とのふれあいの場の確保	三重河川国道事務所、玉城町、大台町	短期	中期	中長期
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・自然環境保全に関する協議会等の活動 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習 ・流域内伐採木のバイオマス発電への利活用	三重河川国道事務所、三重県、伊勢市、多気町、玉城町	短期	中期	中長期

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

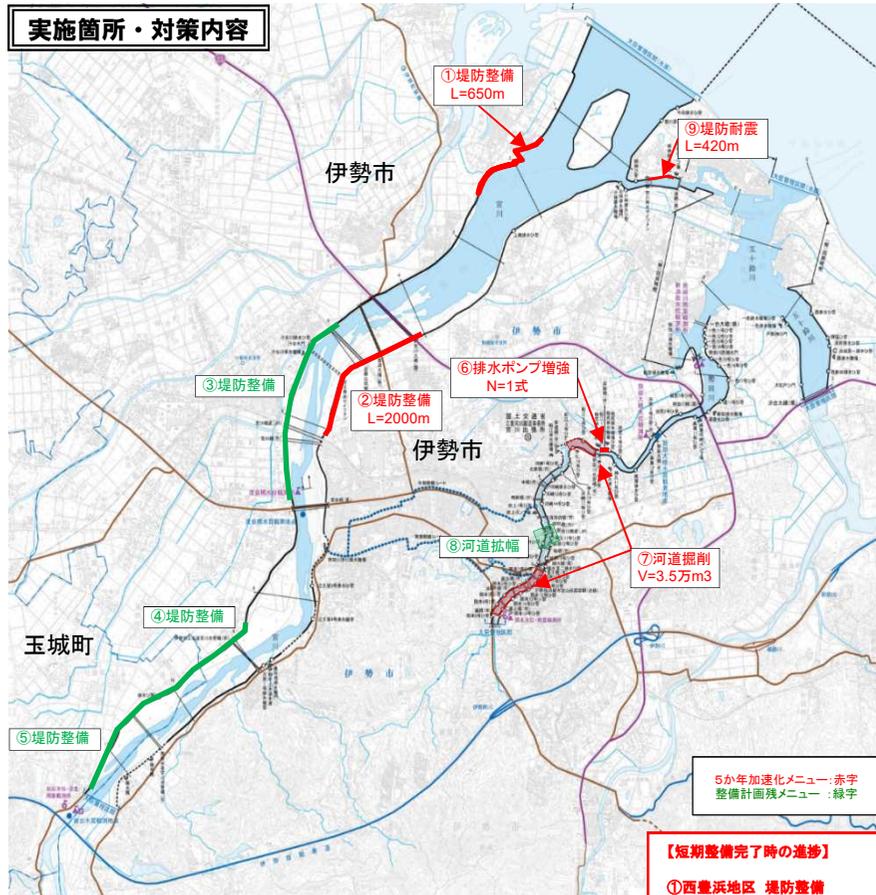
※各工程段階の実施内容は今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
※各対策の旗揚げは代表的な事例を示しています。

宮川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

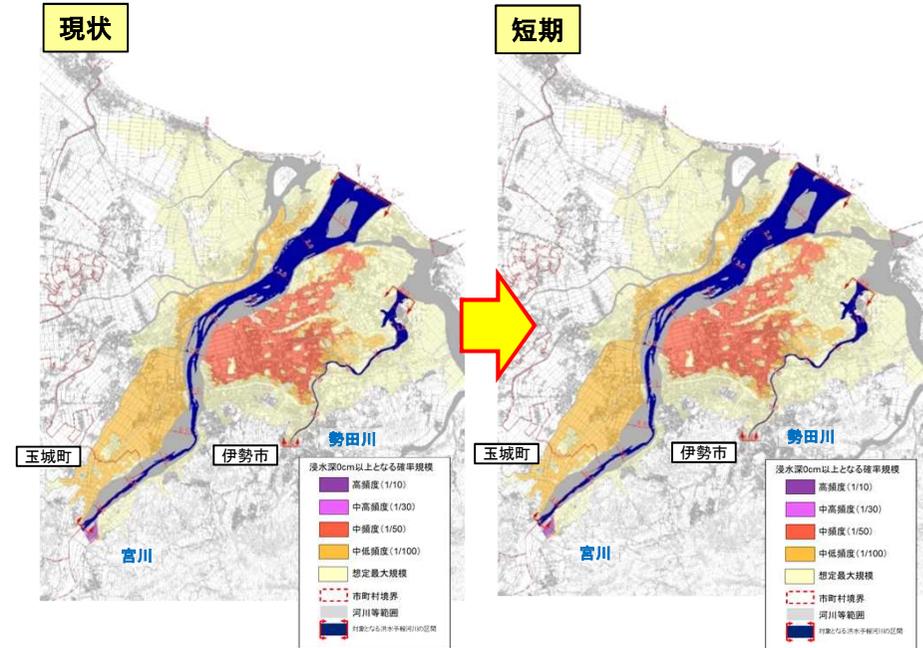
～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

- 勢田川における排水ポンプ増強や河道掘削をR7に完了することで、平成29年10月洪水規模と同規模の洪水に対して、勢田川流域(伊勢市内)の浸水被害を軽減することが可能。
- 大湊川の堤防耐震をR7に完了することで、伊勢市大湊地区における地震時の浸水被害を軽減することが可能。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約76%→約90%



【短期整備完了時の進捗】
 ①西豊浜地区 堤防整備 38%→60%
 ②御蔵地区 堤防整備 0%→50%
 ⑥田尻地区 排水ポンプ増強 0%→100%
 ⑦田尻・河崎地区 河道掘削 58%→100%
 ⑨大湊地区 堤防耐震 33%→100%



- ・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破堤する可能性があります。
- ・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3～R7年度) 1/30～1/30	中期 (R8～R14年度) 1/30～1/50	中長期 (R15～R26年度) 1/50～1/50
氾濫をできるだけ防く・減らすための対策	堤防整備	①西豊浜地区	60%	100%	
		②御蔵地区	50%	100%	
		③小俣地区		100%	
		④川端地区			100%
		⑤屋田地区			100%
	排水機場ポンプ増強	⑥田尻地区	100%		
	河道掘削	⑦田尻・河崎地区	100%		
	河道拡幅	⑧河崎地区			100%
	堤防耐震	⑨大湊川地区	100%		

宮川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～「神宮」の地に暮らす人々の命と観光産業を守る宮川(勢田川)流域治水対策～

<p>戦後最大洪水に対応した河川の整備</p>  <p>90% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>0市町 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>0施設 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上 および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 0箇所 (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 1施設 (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における 防災指針の作成</p>  <p>0市町村 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のための ハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 4河川 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 1団体 (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の 実効性の確保</p>  <p>避難確保 計画 洪水 99施設 土砂 40施設 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 集計中 (令和4年1月1日時点)</p>
---	--	--	--	---	--	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防拡幅及び護岸整備による堤防強化

【三重河川国道事務所】



施工後
宮川

- 河川整備計画目標流量を安全に流下させるために必要な堤防断面の拡幅とともに、堤防の護岸整備により堤防強化を実施。
- R3年度は約170mの堤防整備を実施。

堆積土砂掘削による流下能力確保

【伊勢市】



施工前

- 椀川支川等に堆積した土砂掘削を実施。R3年度は、4河川において、計約1,300m³の土砂掘削を実施。

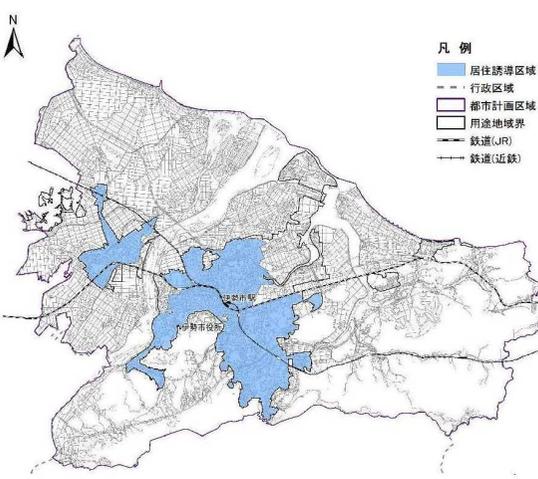


施工後

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画における防災指針の作成検討

【伊勢市】



凡例
 ■ 居住誘導区域
 --- 行政区域
 --- 都市計画区域
 □ 用途地域界
 --- 鉄道(JR)
 --- 鉄道(近鉄)

	面積	H27人口	H27人口密度
用途地域	2,261ha	75,564人	33.4人/ha
居住誘導区域	1,547ha	58,451人	37.8人/ha
割合	68%	77%	

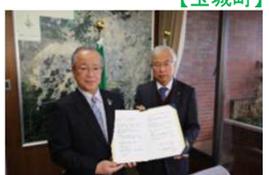
※居住誘導区域に含めない区域
 ・自然公園法に規定する特別地域
 ・保安林の区域
 ・土砂災害特別警戒区域
 ・急傾斜地崩落危険区域

- 近年の自然災害の頻発・激甚化を踏まえ、災害リスクを踏まえた防災まちづくりを進めることが重要である。
- 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律(R2.9.7施行)に伴い、新たに立地適正化計画の居住誘導域内で行う防災対策・安全確保対策を定める「防災指針」の作成を実施する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

企業との応援協定一時避難場所の確保

【玉城町】

- 企業の施設を一時避難場所としていただく協定を締結
 左図：有限会社 MCD 収容人数51名
 右図：美和ロック(株) 玉城工場 収容台数80台

浸水情報共有システムの構築

【三重河川国道事務所、伊勢市、中部電力】



- 宮川(勢田川)流域で簡易浸水センサ等を用いた「浸水状況共有システム」を構築し、浸水状況の早期把握が可能となり、水防活動や通行規制等に活用。今後、中部電力と連携し、スマートメータを活用した下水道水位検知の検討を進める。